

<新入生のみなさんへ>

フィリピン・ダブルディグリープログラム（修士）

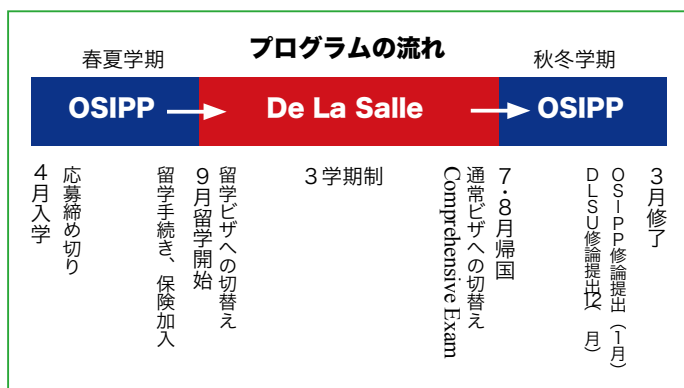
派遣先 : De La Salle University
派遣期間 : 2021年9月～2022年7月 or 8月
テーマ : 人間の安全保障
専攻分野 : 開発政策、政治学
募集人数 : 1名
応募〆切り : 2021年4月末頃

フィリピン・ダブルディグリープログラムとは、1年を大阪大学国際公共政策研究科で、もう1年をフィリピンのデ・ラ・サール大学リベラルアーツ大学院で学び、2つの大学の学位（修士）を2年間で同時に取得するプログラムです。両方の大学で課程修了に必要な単位を修得し、修士論文を英語で1本書いて、両大学で審査され、合格すればプログラム修了となります。

人間の安全保障を大テーマとし、平和構築、開発・援助、災害復興、人権、環境、民主主義などの分野から研究テーマを選ぶことができます。相手校はマニラの中心部に位置するカトリック系の伝統校、デ・ラ・サール大学であり、リベラルアーツ学部大学院（修士課程）の開発政策と政治学専攻のいずれかになります。授業は大半が英語です。

奨学金がつくか付くか付かないかは、年度開始までわかりません。奨学金が付いた場合、受給資格者は日本人または永住資格者となります。授業料は大阪大学に払うこととなりますが、デ・ラ・サール大学では授業料以外にビザ切替等に経費が発生します。また、渡航費、海外旅行保険が必要となります。

デ・ラ・サール大学校舎



担当者・問合せ先

松野明久（OSIPPP）：matsuno@osipp.osaka-u.ac.jp

★まずは、メールで気軽にご相談下さい。

